人文社会科学系・国際共同研究拠点事業
拠点形成（心の可塑性研究ユニット）事業
研究大学強化促進・研究集会事業

Kumamoto University

認知心理学国際セミナー【通訳付】

Aging of the brain and cognition in the context of vascular health

年をとると脳構造と認知機能はどう変化するのか
ー血管の健康との関係からー

高齢になると、新しく物事を覚える記憶力は低下しますが、その一方で、すでに持っている知識やその運用能力は保たれ、認知機能の加齢変化は一様ではありません。同様に、認知機能を支える脳にも、加齢によって萎縮が急激に進む部位とそうでない部位があります。このセミナーでは、そうした機能と構造の関係および加齢変化を左右する要因について考えていきたいと思います。

（コーディネーター：文学部教授　積山　薫）

日時：2016年8月2日（火）14:30～16:00
場所：熊本大学 黒髪北キャンパス
文法学部棟１階　A2講義室

講師紹介

Prof. Naftali Raz
(Wayne State University, USA)

イスラエルのHebrew Universityを卒業。テキサス大学オースティン校で心理学と神経科学を学び、1985年に博士号を取得。脳の構造的な加齢変化、とりわけ正常加齢における萎縮のスピードが脳部位によって異なることを示した研究では、世界をリードする。こうした脳の加齢変化がどのような認知機能の変化と関連するか、また、どのような要因によってそのスピードが影響を受けるかなどの研究を続けている。

お問合せ

人文社会科学系国際共同研究拠点担当
096(342)2480
k-senryaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

POIE
Priority Organization for Innovation and Excellence